

- 学級生活になくてはならないものを、子どもたちの意見を十分に反映させて決める。
- 所属人数は特に制限しない。
- 各係ごと、リーダーを中心に話し合う機会を持ち、計画を立てて実践させる。
- 月に1回は活動を相互評価させ、組織の一員として活動していることを意識させる。
- 自由登録制を取り入れた組織を考える。例えば、「新たに登録したいものがあれば、みんなの前で発表する」、「みんなの賛意（約半数）が得られれば、インデックスカードに記入し掲示する」、「やめるのも自由」などのルールを決めて取り組ませる。

2 学級通信を考える～その14：イラスト

山口市立平川小学校 梶田崇晴

イラストがちょこんと入っていると。なぜかほっとします。

ある保護者から、「イラストがあると一気に読めますね」と言われたことがありました。昔、手書きで学級通信を書いていた頃は、市販のイラスト集をコピーしてよく載せていました。自分でイラストが描けるようになりたいなあと思ったこともあったのですが、なかなか暇がなくて身に付きませんでした。

最近では、パソコンで学級通信をつくる人が多くなったようですが、インターネット上にたくさんの著作権フリーのイラスト集がありますね。それらを活用されたらどうでしょうか。

郵便局のフリーイラスト <http://www.yuubinkyoku.com/illustr/>

学校イラスト <http://www.schoolclipart.jp/>

D-project 使えるイラスト http://www.d-project.jp/museum/free_illustr/main.html

3 中国学級活動ネットワークin米子 報告 その8～調査官の話その4

今回は、期待される教師像についてお話されたところを紹介します。

最近、教師力という言葉が話題になっていますね。調査官は、それぞれがそれぞれの持ち味を生かしていったらいいと言われました。

その1 「がんばれと言わずに、期待されていることを伝える」ということだそうです。「がんばれ」の安売りはだめですね。調査官の教育心情は「明日への希望がなければ、人は育たない」ということだそうです。適度な課題で挑戦意欲を高める先生というのは、素晴らしいということでした。いかにその子にあった課題を与えて、期待をして、頑張らせられるかという先生だということです。それを、大変に

なるからとか、他のクラスに負けたくないからとかというのを評価の価値観にしてしまうので、無理が出るということでした。

その2 子どもたちに役割を与えることをよくやりますが、失敗した時に「もう一回やらせてよ、今度はもうちょっとうまくやれると思う」と子どもに言われる先生になるべきだということでした。これを効力感といい、そういったものをもたせられているかを考えてほしいということでした。ただ輪番で回しただけでやると、やったあと「もう二度とやらない」と思うか、「次にやったらもっとうまくいくのになあ」と思うのは、たぶん接している教員の違いだということです。楽しい学級、笑顔あふれる学級には、やはり規律とか規範というのは必要なんですね。その中には、教師がやるべきこともあります。何でもかんでも子どもに任せて、「子どもが主演」を勘違いしている先生がいるということ。学校の規律や学級の規律は教師がやることで、そういうことをきちんとやらないから「特活は遊んでいる」とか「特活は規律を乱す」と言われるということでした。楽しいだけではない。また、そういうものがなければ楽しくはならない、というように価値観を変えていく必要があるということでした。

毎年、新しく教員になった何%かは辞めていくということです。教え方が分からないからといって辞めていく人は一人もいなく、子どもの気持ちがあかぬ、親とうまくいかない、同僚とうまくやれないと言って辞めていくそうです。このことに学校として力が入っているか、ということを考え直す必要があるということです。そういう価値観をもう一度見直さない限り、特活には光は当たらないということですね。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第33号は5月下旬ごろ発行予定です。

次号は、「係活動」について第4弾をお送りする予定です。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は148名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。本メールマガジンでは、今後、以下のようなこ

とについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====
山口学級活動ネットワーク メールマガジン
☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで
☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部
梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（防府市立西浦小）
能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小） 吉田哲朗（山口大学附属山口小）
=====